

# 2024 年度第 3 回医薬品受託研究審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：西暦 2024 年 6 月 27 日（木）16:15～17:00

開催場所：共同棟会議室

<出席した委員>加藤敦、中川崇、柴原直利、名執基樹、谷口美樹、水口峰之、小野敦央

<欠席した委員>中條大輔、野口誠、松谷裕二

<議題及び審議結果を含む主な議論の概要>

<議題：新規審査>

ONO-4059 第 1 相 小野薬品工業株式会社

小野薬品工業株式会社の依頼による第 I 相試験

・新規申請に基づき、本試験の実施の妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

TAS-102 第 3 相 医師主導試験 梶浦新也

血中循環腫瘍 DNA 陽性の治癒切除後結腸・直腸がん患者を対象とした FTD/TPI 療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第 III 相試験（医師主導試験）

・国外での重篤な有害事象報告、年次報告に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Inebilizumab 第 3 相 メドペイス・ジャパン株式会社（試験国内管理人）

A Phase 3, Randomized, Double-Blind, Multicenter, Placebo-Controlled Study of Inebilizumab Efficacy and Safety in IgG4-Related Disease/IgG4 関連疾患における Inebilizumab の有効性及び安全性を評価する、ランダム化、二重盲検、多施設共同、プラセボ対照第 III 相試験

・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

BAY 94-8862 第 3 相 バイエル薬品株式会社

左室駆出率 40%以上の心不全患者（NYHA 心機能分類 II～IV 度）における罹患率及び死亡率に関して、finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験

・国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

SAR442168 第3相 サノフィ株式会社

BTK 阻害薬 SAR442168 の PPMS 試験 (PERSEUS)

- ・ 国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 治験実施計画書、治験薬日誌の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

MK-6482 第3相 MSD 株式会社

MSD 株式会社の依頼による腎細胞癌を対象とした MK-6482 の第Ⅲ相試験

- ・ 国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 治験実施計画書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

TAR-200/Cetrelimab 第2相 ヤンセンファーマ株式会社

膀胱全摘除術に不適格である、又は膀胱全摘除術を選択しなかった、カルメット・ゲラン桿菌 (BCG) 膀胱内注入療法に不応性の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌 (NMIBC) 患者を対象として、TAR-200 と Cetrelimab の併用、TAR-200 単独、又は Cetrelimab 単独の有効性及び安全性を評価する第2b相臨床試験

- ・ 国内外での重篤な有害事象報告、年次報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

MK-3475 及びエンホルツマブ ベドチン 第3相 MSD 株式会社

シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC) 患者を対象とした周術期の EV+ペムブロリズマブと術前補助化学療法の比較

- ・ 国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 添付文書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Efgartigimod PH20 SC (ARGX-113 PH20 SC) 第2相 株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人)

株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人) の依頼による慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP) 成人患者を対象とした ARGX-113 PH20 SC の第2相試験 (非盲検延長試験)

- ・ 国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・ 治験実施計画書、治験薬概要書、同意説明文書の改訂報告、妊娠および出産に関する健康情報の収集に関する同意書の変更を説明するレター、OOS (規格外試験検査結果) に関するお知らせの作成報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

デュルバルマブ、トレメリムマブ及び enfortumab vedotin 第3相 Fortrea Japan 株式会社（治験国内管理人）

Fortrea Japan 株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及び enfortumab vedotin の第Ⅲ相試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・SmPCの改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) 第3相 アッヴィ合同会社

アッヴィ合同会社の依頼による Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) の第Ⅲ相試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験薬概要書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Atezolizumab (RO5541267) 第3相 中外製薬株式会社

中外製薬株式会社の依頼による膀胱癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相臨床試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・同意説明文書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

ONO-4059 第2相 医師主導治験 林篤志

原発性眼内悪性リンパ腫に対する ONO-4059 (ブルトンキナーゼ阻害剤) の医師主導による第Ⅱ相二重盲検比較試験

- ・国内での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・モニタリング報告書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

JNJ-80202135 (nipocalimab) 第2/3相 ヤンセンファーマ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社の依頼による成人の慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) 患者を対象とした Nipocalimab の第Ⅱ/Ⅲ相試験

- ・国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・EQ-5D-5L eCOA Tablet Screenshots の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

TAR-210/erdafitinib 第1相 ヤンセンファーマ株式会社

特定の FGFR の変異又は融合を有する日本人膀胱癌患者を対象に TAR-210 の忍容性、安全性及び薬物動態を評価する第1相試験

- ・国外での重篤な有害事象報告、年次報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

NIS793/VDT482 第2相 ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による NIS793 の第II相試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：終了報告>

AVT06 第3相 IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社（治験国内管理人）

（治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による AVT06 の第III相試験

- ・治験終了報告書に基づき、本治験の終了報告を行った。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

OPC-131461 第2相 大塚製薬株式会社

大塚製薬の依頼による心性浮腫(うっ血性心不全)を対象とした OPC-131461 の第II相試験

- ・治験薬概要書、被験者募集手順に関する資料の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

ニボルマブ 第3相 医師主導治験 藤井努

膀胱癌患者を対象としたS-1併用化学放射線療法+ニボルマブの第III相試験（医師主導治験）

- ・院内及び国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

RO6867461 第3相 中外製薬株式会社

中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした RO6867461 (ファリシマブ) の第III相試験

- ・国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

MK-3475 及びエンホルツマブ ベドチン 第3相 MSD 株式会社

シスプラチン不適応又はシスプラチンを拒否した筋層浸潤性膀胱癌（MIBC）患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチン（EV）とペムブロリズマブの併用療法を検討する第Ⅲ相試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・添付文書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Ziltivekimab 第3相 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による

心不全および炎症を有する患者を対象とした ziltivekimab の効果をプラセボと比較検討する第3相試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
- ・治験実施計画書、同意説明文書の改訂報告、DFU の作成報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

TAR-200 第3相 ヤンセンファーマ株式会社

カルメット・ゲラン桿菌（BCG）未治療の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌（HR-NMIBC）患者を対象に、TAR-200 と cetrelimab の併用投与又は TAR-200 単独投与と、BCG 膀胱内投与の有効性及び安全性を比較する、第3相非盲検多施設共同ランダム化試験

- ・国内外での重篤な有害事象報告、年次報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

AMG0103 第2相 アンジェス株式会社

慢性の椎間板性腰痛患者に対する AMG0103 の有効性、安全性及び忍容性を評価する、第Ⅱ相多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験

- ・治験実施計画書、同意説明文書、被験者への支払いに関する資料の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

LCZ696(延長) 第3相 ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による長期投与試験完了後の小児心不全患者を対象とした LCZ696 の第Ⅲ相試験

- ・添付文書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

obixelimab 第3相 (治験国内管理人) 株式会社新日本科学 PPD

IgG4 関連疾患患者を対象としたオベキセリマブの第3相試験

- ・国内での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

IMVT-1401 第3相 (治験国内管理人) サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社

サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社 (治験国内管理人) の依頼による全身型重症筋無力症患者を対象とした IMVT-1401 の第Ⅲ相試験

- ・国外での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

SJP-0008 第3相 千寿製薬株式会社

千寿製薬株式会社の依頼による SJP-0008 の第Ⅲ相試験

- ・治験分担医師の変更報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

Suizenji 第一相 ソニア・セラピューティクス株式会社

Suizenji の切除不能膵癌患者を対象とした無作為化比較試験

- ・院内での重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認

<議題：継続審査>

TAK-279 第2b相 武田薬品工業株式会社

A Phase 2b, Multicenter, Randomized, Double-Blind Induction, Placebo-Controlled, Dose-Ranging Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Oral TAK-279 in Subjects with Moderately to Severely Active Crohn's Disease

中等症から重症の活動期クローン病患者を対象に TAK-279 経口製剤の有効性及び安全性を評価する第2b相、多施設共同、無作為化、導入期での二重盲検、プラセボ対照、用量設定試験

- ・治験薬概要書の改訂報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

<審議結果> 承認